

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

8月の行事予定

- 3日（木）誕生会
- 11日（金）選択食
- 15日（火）2階理美容
- 18日（金）選択食
- 22日（火）3階理美容

27日（日）納涼模擬店



9月の行事予定

- 4日（月）誕生会
- 8日（金）選択食
- 19日（火）2階理美容
- 21日（木）敬老会
- 26日（火）3階理美容

29日（金）選択食



HAPPY BIRTHDAY

9月は3名の方がお誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

- ・岩崎ふく子様
- ・花田 朋子様
- ・湯川 眞澄様



ご寄付の御礼

- (ビニール傘) (キャップ)
・澤 かおり 様 ・田邊 貞男 様



施設運営に温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

健康で楽しい施設生活の向上を図るために

社会福祉法第24条に定められている高齢者福祉施設の経営原則として、社会福祉法人は福祉事業の担い手として、ふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うために、自主的にその経営基盤の強化を図らなければならないと明示されています。

そのため社会福祉法人の使命として、地域社会におけるセーフティーネットを構成する社会資源として、地域に暮らす人々に安心をもたらし、信頼される社会福祉施設となるためには、利用者様一人ひとりの尊厳を守る良質な福祉サービスの実施とともに、近年特に多様化・複雑化する生活課題や福祉需要への積極的な対応が求められます。

このような基本方針のもとに施設として、今年度は高齢者の肺炎の大部分を占めている「誤嚥性肺炎」の発症ゼロを目指して、全職員で取り組んでおります。

誤嚥性肺炎とは本来気管に入ってはいけない物が気管に入ってしまう、そのために生じた肺炎です。老化や脳血管障害の後遺症などによって、飲み込む機能や咳をする力が弱くなると、口腔内の細菌、食べかす、逆流した胃液などが誤って気管に入りやすくなり、その結果、発症するのが誤嚥性肺炎です。

これを防ぐためには食事時の職員の見守り、しっかりとした口腔ケア、食事時の姿勢なども大切になってきます。そのためには時間をかけてゆっくりと召し上がって頂き、その人に合った口腔ケアを実施することが誤嚥性肺炎を無くすことに繋がっていくと思われれます。

職員も勉強中ではありますが、利用者様の健康管理に重点を置き、誤嚥性肺炎をなくす取り組みを強化していくことにしております。

いま、介護業界では人手不足によって経営が成り立たなくなる事業者が増えてきており、東京商工リサーチの調査によりますと、昨年の介護事業者の休業や解散は過去最多の 638 件にもなっているとのことです。

介護保険制度は平成 12 年から発足し 23 年が経っており、定着はしているものの急速な高齢化と諸物価の高騰などによって、保険制度では対応できない課題も増えてきていることから、今後の経済全体を底上げして介護職員の処遇改善を強化していく必要があります、介護の在り方について国全体で議論を深めるべきであると指摘されています。

確かに医学の進歩によって、人間の寿命が延び高齢者が急増する社会構造となりましたが、これからの高齢者介護において本当の人間の生涯はどうあるべきか、極めて困難な課題がますます深まっていくことには間違いありません。

迎え火・送り火

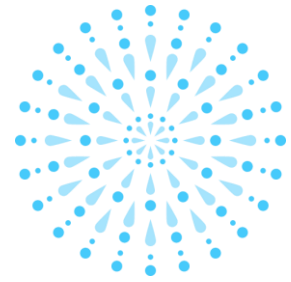
迎え火・送り火を実施しました。
理事長が唱えるお経を聞きながら合唱。



土用の丑の日

今年も元気に
美味しいうなぎ重を
頂きました！！





花火大会を開催しました！！

夕食後のひと時、花火鑑賞をしました。途中から大雨となってしまいましたが、それもいい思い出になりました(^_^)/

